



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和 7 年 10 月 17 日発行第 19 号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



本物をめざせ

校 長 武井 正明

人生には季節がある。

教員人生が終盤に差し掛かっている今の私は、さしずめ晩秋、といったところだろうか。つくづく感じるのは「出逢因縁」だ。この頃は「伏線回収」みたいになってきている。人生悪いことはできないものだ。自分の「最終回」も、ひたひた近づいている感じがする。

かつて教えた教え子達も人の親となり、中には今や、吉中の保護者もいる。

幼少から学生時代にかけて、家族ぐるみでお世話になった方や、同窓生の妹さんも、吉中学区で吉中生を見守ってくださっている。決してきれいな道を歩いてきているわけではなく、黒歴史ばかりの自分にとって、こんなに申し訳なく、ありがたいことはない。

先月も昔の教え子が、野球部顧問時代の懐かしい記憶を、蘇らせてくれた。

生きていれば、1日に米寿を迎えるはずだった父が、私が発行していた大量の野球部だよりを、丁寧に綴じ込んで保管しておいてくれた。

それを見て思う。

自分が今書いているこの「学校だより」や吉中ホームページの「学校日記」「校長 vision」は総て、教諭時代からやっていた「学級だより」「学年だより」「生徒指導部だより」「研修だより」「野球部だより」の延長線上にある、ということ。

そして最終的に信じられるものは、愚直に積み重ね身に付けた得意技以外ない。自分の原点こそが、自身の拠り所になっていくものなのだ。

おこがましくも私は今、多くの教職員を管理・指導する立場を戴いている。

今は「立場」で、いろんな方々が私の話に耳を傾け、原稿を読んでもらっている。

しかし、自分自身の日々の姿勢の本当の答えは、人生の本当の勝負は、その立場がなくなり、自分が肩書のない、ひとりの人間になった時にわかんと思っています。

その時が来るのが、今は怖い。

だから尚更思うのだ。

吉中諸君には「本物」をめざしてほしい。私も遅まきながら、本物をめざしている。

外見やごまかしではなく、あなた自身の魅力や個性を、ひたすら磨いてほしい。

人真似ではなく、自分にしかない、君だけのオリジナルを発見し、伸びてほしい。

君たちは何も始まっていない。あなたの季節はまだ「青春」の序章にすぎないのだから。

9/21(日) 秋季定期演奏会



9/26(金) 体育祭「吉中心結〜Every Moment is a Victory!」



10/1・7 県央新人陸上大会・新人戦



令和7年度 10 月下旬～11 月の主な行事

20(月) 後期開始 質問教室

21(火)22(水) 第2テスト

6(木) 郡市中教研研修会(授業3限)

15(土) 音楽祭

17(月) 音楽祭代休日

18(火)～28(金) 教育相談週間